

6次産業化で経営の安定化 ～ 株式会社 黒滝農園 ～

経営体の概要

設立前年：平成28年

基幹作物：飼料用米52.0ha、大豆20.0ha
にんにく3.0ha

経営面積：自作地20.0ha、借地55.0ha、
ハウス22棟

現在：令和3年

基幹作物：主食用米3.0ha、飼料用米58.0ha、
大豆12.0ha、にんにく3.5ha

経営面積：自作地20.0ha、借地56.5ha、
ハウス22棟

取組の経緯と経営転換のポイント等

法人化前は臨時雇用のみであったが、経営規模が拡大し、雇用環境を整え社員等の安定的な雇用を確保するため、平成29年1月に「株式会社黒滝農園」を設立した。令和3年では社員3名、臨時雇用者数14名となっている。

国営事業により安定供給される農業用水を利用し、主に飼料用米、大豆、にんにくの栽培を行っており、にんにくは、JAへの出荷のほか、塩糶にんにくや黒にんにくへの加工・販売をしている。また、黒にんにくは、ふるさと納税の返礼品として出品している。

営農改善のポイント

① 6次産業化

にんにくはJAへの出荷のほか、自社で塩糶にんにくと黒にんにく（玉、ペースト、スライス、粉末）に加工し、直売所や小売店への出荷、インターネットでの販売、ふるさと納税の返礼品として出品するなど、多様な販売を行っている。



水田

② 担い手の育成・確保

これまで非農家3名の新規就農者の研修を受け入れ、全員が独立し営農している。また、後継者は2名おり栽培や販売に携わっている。臨時雇用者は、水稻やにんにくの栽培、冬期間の加工作業等で14名を雇用するなど雇用の場を創出している。



黒滝 乾燥後のにんにく農園

③ 省力化

基幹作物の播種から乾燥・調整までに必要な農業機械は全て整備し令和3年には水稻用のV溝播種機を導入し更なる省力化を図っている。また、にんにく栽培では、種の方角を整えないで植付を行うなど、省力化に取り組んでいる。



黒にんにく製造機

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：弘前市、五所川原市及びつがる市

受益面積：10,580ha

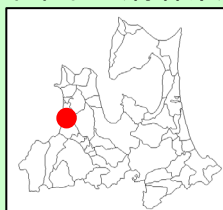
事業期間：平成8年～平成27年

事業目的：用水改良、排水改良

主要工事：頭首工1箇所、貯水池1箇所

揚水機場2箇所、排水機場5箇所 等

位置図（青森県）



岩木川左岸地区

<問い合わせ先>

東北農政局

農村振興部農地整備課

電話：022-263-111

内線（4460, 4459）

（令和3年度調査時点）